



創立 1995 年 10 月 18 日

[参加して真に生き甲斐の持てるクラブ]

2014～15年度テーマ

～先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう～

第 228 回例会

日 時:平成 26 年 10 月 9 日 (木) 12 : 30～14:30

場 所:八王子エルシイ

出席者:57 名、欠席者 13 名 出席率 81.4%

(会員総数 70 名 休会 0 名)

会食とハッピーコイン披露

田中美代子例会委員長の合図で会食を始め、会食中に永井昌平副会長からハッピーコインのメッセージ (3～4 頁に掲載) が披露された。

開会 田中例会委員長の司会で開会。本日の配布資料の確認。

1. 挨拶 永井副会長



元物理屋のはしくれとして、日本人 3 名がノーベル物理学賞に輝いたことを喜んでいます。

この青色発光ダイオードに使われている材料は、実は大変扱いづらい材料でした。ほとんどの研究者が使うの

をやめた材料です。この難しい材料の問題点を一つ一つ地道に解決して、成功にこぎつけました。

およそ 20 年前のこと、発光が 1 万時間を越えたというニュースが飛び込み、大変驚いたのを覚えています。

振り返って、八王子プロバスクラブも来年 20 周年を迎えます。これも先輩の方々の地道な努力のおかげであると感謝しています。ただ、今後とも維持発展を続けるためには、人材の補充が不可欠だと思います。会員委員会の皆様も努力していますが、今のところ思うような結果がまだ出ていません。是非、全員が会員増強に力を貸していただくようお願いいたします。

2. パースデーカード贈呈

今月もおなじみの池田会員手作りのパースデーカードが永井副会長より 10 名の会員に贈られた。



写真左から戸田、小林時雄、矢島、古川、立川、副会長、大野幸二、山口の各会員 (欠席 土井俊玄、荒、岡本会員) おめでとうございます。

3. 卓話 多摩の信用金庫について

話し手 鈴木 弘昭会員

1. 信用金庫の誕生



明治 33 年(1900 年)、産業組合法が成立し、信用組合、農協、生協が誕生しました。日清戦争に勝利し、日本の経済も発展の気運の中にあ

りましたが、銀行は大企業や富裕層中心に取引しており、庶民、農民、中小零細企業者との格差が広がっていました。そのような環境の中、信用組合は組合員同士の相互扶助の精神から組織されたもので、これが信用金庫のルーツとなっています。昭和 26 年信用金庫法が施行され、信用組合の中から一定の基準をクリアし認可された組合が信用金庫となりました。なお、信用組合の中には現在も市街地の組合と業域型の組合、職域型の組合が存在しています。

2. 信用金庫と銀行の違い

信用金庫法の精神は産業組合法の相互扶助の考え方がそのまま生きています。

銀行は株式会社組織の営利法人であり、信用金庫は協同組織で成り立ち、会員(組合員)が拠出する出資金が主たる資本金です。しかし金融機関である以上、経営の健全性、安全性を確保するため、適正な利益を計上し、自己資本の充実につとめています。又、信用金庫は営業地域が限定されているところから地域金融機関といわれ、法人取引は資本金9億円以下または従業員300人以下の事業者に制限されており、中小企業専門の金融機関とされています。

一方、銀行は大企業を主たる取引先として全国的に営業を展開し、国際的にも拠点をもちグローバルに活動しています。

3. 多摩の信用金庫の推移

昭和26年、信用金庫法の施行以降、多摩に本店を有する信用金庫は5金庫(八王子、多摩中央、武陽、青梅、太平)でしたが、昭和44年、武陽が協立と合併(西武信用金庫と名称変更)したため、4金庫となり、さらに、平成18年1月多摩中央、太平、八王子が合併(多摩信用金庫と名称変更)し、現在多摩に本店を有する信用金庫は多摩と青梅の2金庫となりました。

3金庫の合併の趣旨は、バブル経済の崩壊、金融ビックバン、ペイオフなどの背景もありますが、大きなねらいは全国でも有数のポテンシャルのある地域としてこれからも大きく変化することが確実な多摩地域の今後20年、30年先の将来を展望したとき、3金庫が志を一つにして対応していくことが地域経済に貢献できると確信したからです。

4. 多摩の実力

ポテンシャルの高い多摩地域を一つの県に見立てた場合の全国都道府県ランキングでその実力を分析するとほぼ静岡県と同等の位置づけにあります。人口、世帯数、事業者数、従業員数、小売業商店数、小売業年間販売額、NPO認定数は10位~15位となり、大学・短大数は4位です。製造業事業者数、製造業出荷額等は22位~23位ですが(大企業のある愛知、神奈川、静岡が上位)、技術的に秀れた中小企業が存在しています。多摩の信用金庫の出番は多く、積極的なサポートを期待します。

5. 日常取引の中での事例

最近振り込み詐欺や盗難キャッシュカードなど預金口座が犯罪に使われる場面が多く見られ、本人確認法、犯罪収益移転防止法の定めにより、お客さまにご不便をおかけする事がありますが、これは大切な預金をお守りするためのものです。是非、ご理解をいただきたいと思います。

通帳やカードが売買される時代で、これが犯罪に使われることになり、口座開設にはしっかりした本人確認をしています。又、紛失したカードが使われることもあり、届出を早急にする必要があります。現金の払出しや振込金制限も、ATMの場合と窓口では、それぞれ違いますので理解しておきましょう。

ご葬儀代を支払うときなど、いろいろな場面を想定して準備をしておくことをおすすめしますが、金融機関の窓口や営業担当者と親しくしておくことが必要だと思います。

4. 幹事報告 武田幹事

活動準備資金特別会計の創立20周年記念事業への振替について：来年の記念事業のうち、オリンピックホール基本使用料については、今月中に支払いの請求が来る予定です。このこともあり、今後の会計処理の円滑化のため、記念事業会計へ活動準備資金積立額の口座振替をすることにつき、審議した結果、承認されました。移管の時期、金額等については、別途決定します。

5. 委員会報告

(1) 例会委員会 田中委員長

出席会員数の報告(1頁参照)

(2) 情報委員会 河合委員長

プロバスだより227号お届けしました。今月号から印刷所が変わりました。お世話になっていた花わらべ広告社岡田さんのご都合によるものです。長いことありがとうございました。投稿はかなり集まっています。多くの方に投稿していただきたいので、なるべく800字以内にまとめてください。

(3) 会員委員会 増田副委員長

永井副会長からもお話がありましたように、新会員募集について努力していますが成果がみられておりません。皆様のご協力をお願いします。

(4) 研修委員会 石田委員長

野外研修のご案内2を配布しました。追加情報として旅行会社名と電話番号、連絡先のEmailアドレスや電話・ファックス番号などを記載しています。何かあれば連絡してください。現在参加申込みは40名です。キャンセルは2日前までに連絡があれば全額返還いたします。車内の飲み物は各自用意してください。

(5) 地域奉仕委員会 寺田委員長

学習サロンの特別講話の演者が決まりました。開講式はNHK解説主幹の島田敏夫氏、閉講式は在宅医療が専門で、数井クリニック院長の数井学先生です。また、サロンの話し手も決まり、テーマと概要の提出をお願いしています。

(6) 「宇宙の学校」プロジェクト 下山リーダー

9月の八王子「宇宙の学校」はスケジュール通りに順調に進んでいます。本部校教育センターは前回報告通り。北高校27日46名、東京工科大28日164名の参加がありました。10月は19日教育センター、25日に北高校、26日に東京工科大を会場として開催の予定です。見学に来られる方、予定のスタッフの皆さん、よろしくご参加ください。

土井会長による支援の会を通じての金銭的なご支援については、例年通りのご協力が得られました。お陰様で今年は参加者の増加で費用も増大したにもかかわらず、実施できる状況になっています。詳しくは決算で報告します。

ご支援有難うございました。

(7) 交流担当 浅川理事

第6回全日本プロバス協議会総会は前号でご案内したように、11月23日(日)横浜で開かれます。当クラブからは24名出席予定です。ご協力ありがとうございます。当日は関内駅改札口に横浜プロバスの会員が出迎えてくださる予定です。

6. 創立20周年記念事業準備委員会報告

吉田事務局長

第2回準備委員会を9月25日(木)に開催、実務担当者による事業計画の検討に入りました。

記念事業は ①記念チャリティ音楽祭、②記念式典、③レセプション関係、④宇宙の学校キャンペーン関係、⑤記念誌関係、の5部門に分かれて検討を

進めます。

記念チャリティ音楽祭は、平成27年10月18日(日)オリンパスホールに決定、出演者の海上自衛隊音楽隊の了解を得ました。今後、具体的内容の検討と共に予算策定と準備工程表の策定に入ります。

7. 同好会活動報告

歴史: 11月1～2日、「縄文土器を見る旅」は15名参加します。あと2名参加可能です。

写真: 秋の撮影会は11月18日富士山麓の白糸の滝周辺で行います。

俳句: 10月21～22日1泊の吟行会を開きます。

カラオケ: 10月30日に第9回カラオケ同好会を開催します。

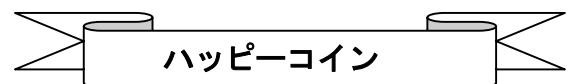
8. その他

八王子市民防犯のつどい: 会場いちょうホール、10月15日1時開場、1時半開演。第一部では立川会員が被害体験発表、第二部音楽パートプログラムでは、当クラブのシニア・ダンディーズが出演します。得意のレパートリーに加え、新たに1936年に作られた八王子市歌を復活させて歌ったり、田中三佐代さんとの共演する場面も予定されています。

9. プロバス賛歌斉唱

10. 閉会の挨拶 永井副会長

本日の委員会報告等にもありましたように、今年度の活動は順調に滑り出しております。11月には移動例会、いちょう祭り、加えて全日本プロバス協議会総会がございます。忙しくなりますが、皆様のご協力をお願いして終わりにします。



◆9月28日 エスフォルタ・アリーナ八王子体育館の内覧会には30人も参加下さいました。新しい体育館はすばらしく、市民の体育向上に大きな力になると思います。健康のために是非ご利用下さい。

立川富美代

◆83年前の今日、神戸の水で産湯をつかいました。以来嬉しい事、悲しい事たくさんありましたが、現

富士山の名称起源

橋本晴重郎



私が終の棲家を八王子市子安町と決めてはや 60 年になるが、ここ 10 年余は1年の3分の1を山梨県南都留郡鳴沢村字富士山 10447 番地の茅屋で過ごしている。字名が「富士山」であり我が家の庭山？が「富士山」であるから当然この山が「フジサン」と呼ばれる起源を知りたくて少々調べてみたがいまだに曖昧模糊として謎の中である。

文献上の初見は『常陸國風土記』である。風土記の編纂は奈良時代の 8 世紀初めであるが、常陸国司の編纂になるものであるから地元の筑波山を称えて富士山を悪者にした古伝承であり富士山にとっては嬉しくない。

古伝承の概要は「祖神が富士山に宿を乞うたが泊めてもらえず、筑波山が親切に泊めてあげたため富士は雪霜に覆われて誰も行かなくなり、筑波山は良い山になって人が集まるようになった」というものであり、「フジ」に「福慈岳」を充てている。

783 年成立した『万葉集』には山部赤人の有名な（田子の浦ゆ打ち出でて見れば眞白にぞ富士の高嶺に雪は降りける）を始め 11 首が「フジ」を歌っており、文字は万葉かなで「不盡」「布士」「布仕」「不自」「不時」などが当てられ、いまだ表記は定着していない。

平安初期の 877 年、都良香（みやこのよしか・官人学者）が著した『富士山記』に「山を富士と名づくるは郡の名に取れるなり。山に神あり、浅間大神と名づく」とあることを根拠に駿河國富士郡からとって充てたとする説があるが「富士」の表示起源にはなっても「フジ」の表音起源にはならない。

「フジ郡」は「ふじ」と呼ばれる山の麓だから古くから山の名をとって「ふじ郡」と称していたが奈良時代の 713 年のいわゆる「好字二字令」によって好字である「富士」を充てたものと思われるから郡名が山の名前に由来すると解すべきであろう。

遅れて 10 世紀半ばの成立とされる『竹取物語』に「月へ帰るかぐや姫が帝に不死の薬を献上したが、

在健康に恵まれて楽しいすばらしい老後を送れることを神様、両親、友人全てに感謝です。今後も楽しいプロバスライフを期待しています。立川富美代

◆杉山会員のお骨折りで「市民防犯の会」にシニア・ダンディーズがいちようホールデビューします。10月15日午後お出かけ下さい。5年かかってやっと仕上がって来ました。お楽しみ下さい。立川富美代
◆全日本プロバス協議会第6回総会には25名の出席を頂きます。有難うございます。おいしい中華料理を食べて交流して楽しく過ごしていただきたいと思ひます。立川富美代

◆来週10月15日に開かれる「八王子市民防犯のつどい」のパンフレットを会員BOXに入れさせて頂きました。後ほど、立川会員からお話しがあります。お暇のある方は、粗品贈呈ですのでどうぞお出かけ下さい。杉山 友一

◆①台風一過、雲ひとつない夕べ、この時 ISS（国際宇宙ステーション）が東京の真上を通過した。ISSは南西からゆっくり現れ、ほぼ真上で地球の陰に入り消えて行った。赤青のライトを点滅しながら飛びかうジェット機と併せ、ひとときの大空の澄みわたったショーでした。②青色 LED ノーベル賞万歳。併せて2コイン。下山 邦夫

◆ノーベル物理学賞受賞のニュースは最近の暗いニュースの中にあって明るい灯火（ともしび）でした。岩島 寛

◆ノーベル物理学賞受賞 赤崎さん、天野さん、中村さん、おめでとうございます。3人の開発した技術に乾杯！！飯田富美子

◆ノーベル賞 おめでとう。渋谷 文雄

◆今月タイに行つて泰緬鉄道の終着駅まで往復 12 時間の旅、途中「クワイ河」にて 30 分停車、歩いて「戦場に架ける橋」渡つて来ました。野口 浩平

◆私達今年で 50 年、金婚に感謝しつつ、ちょっと欧州旅行に出掛けております。田中 信昭

◆またひとつ年をとりました。いつもバースデーカードありがとうございます。戸田 弘文

◆今月 67 歳になります。先輩諸氏を見習つて頑張つて行こうと思ひます。山口 三郎
◆小鳥なく窓辺の秋をおとのえば日に深み行く豆柿の色、亡父の作、逝つてしまった父の年齢に近づいてまいりました。いよいよです！！古川 純香

悲しんだ帝は天に最も近いといわれる駿河の山の頂上で不死の薬と姫の手紙を焼かせた」とあり、この時兵を大勢伴っていたから、この山を「土に富む山」と称したという起源説もある。

文献上での「富士」の名称起源はいまだ謎だが「フジ」と呼ばれるようになった表音起源はもっと謎で、一時、イギリス人宣教師でアイヌ研究家のジョン・バッチェラーが唱えた「フジ」=アイヌ語の「火の神」説は金田一京助によって否定され、その後マレー語説やヤマト古語説が出たが今だ定説となりえない。世界文化遺産になった富士山も名づけ親が不明ではかわいそうだがいたしかたない。

超高齢社会再考

杉山 友一



今年の敬老の日に因んで、総務省から発表された人口統計によれば、65歳以上の人口は3,296万人、75歳以上は1,590万人、80歳以上が964万人で、来年は確実に1,000万人を超えると思われる。一方生産年齢人口（15歳以上65歳未満）は遂に8,000万人を割り（日経）、うち約500万人の15～18歳は自主的に労働に従事する者は殆どいないから、中味は7,500万人で、その内、実就労者は85%の約6,375万人である。つまり65歳以上の高齢者と働き手の人口比は大よそ1対2の極めて厳しい状況にあることがよく分かる。また、その一方で75歳以上の高齢者の年間医療費は遂に100万円/1人に超接近しなお膨張を続けている。加えて、日本の就労者人口は、今後50年で更に1,200万人の減少が見込まれている。

さて、こうした時代にあって、高齢当事者である私たちは、国民として自分たちの在り様をどう考えればよいのだろうか。先の大戦では耐えがたきを耐えて、戦後は又極限の廃墟の中から、世界に冠たる平和国家・経済大国を成し遂げた世代からすれば、自分たちの老後は、感謝と敬意をもって遇されるべきで、この上何をしろというのだ、という思いも至極うなずける。

しかし、それはそれとして、社会保障システムが騎馬戦型から肩車型になりつつある国の現状からすれば、せめて元気な高齢者たちは、身の回りの範囲

でよいから、未来志向の建設的な社会貢献を考えて欲しいというのが現役世代からの要望である。

私はプロバスクラブに転籍する前、35歳から35年間ロータリアンであったが、さすがに長い間には大きな影響を受けている。ロータリーの「綱領」は「奉仕の理想」を掲げ、精神は偏にヒューマニズムである。宗教は時に激しく抗争するが、ロータリーの思想は何時の時代も普遍である。そして、その「綱領」に基づく行動指針に四つのテストがある。即ち、①「真実かどうか」（人道、奉仕の精神に叶うか）、②「みんなに公平か」、③「好意と友情を深めるか」、④「みんなの為になるかどうか」と問うている。ロータリークラブがプロバスクラブの設立をスポンサーする所以もここにある。

私の知り合いに嘉悦大学の柴田光廣教授がいる。氏は世界賢人会議ブタベストクラブの日本アンバサダーを務めている。ブタベストクラブの主張は、20世紀は「権利」の世紀であったが21世紀は「責任」の世紀だ。物質主義や効率主義万能から、愛を基準にした新しい文明シフトを起こさなければならない。今のままではいずれ地球は立ち行かなくなるというものだ。そんな立場の氏がアラカン世代に三分割人生を説いている。つまり、25歳までが学ぶLEARNの時期、65歳までが稼ぐEARNの時期、そしてその後は80歳を目途にして社会へ恩返しRETURNの時期をというものである。社会貢献活動は、ある種の精神性の高まりをもって事に当たれば楽しいものだとも言っている。アメリカでは、NPOが良い例で、自分たちの活動が自国を強くしているとの共通認識ができており、現役時代やビジネス退職後の社会貢献活動への参加は非常に一般的な現象だと各種の事例を紹介している。私たちは高齢者、ときに一病息災を良しとする身ではあるけれども、かかる時代であればこそ、出来るだけ地域社会との関わりに関心を持って、好意と友情を深めながら、みんなの為になることに意を注いでいけたらと、同志へのエールを込めて一稿を投じた次第です。

海外での受難の記

馬場 征彦

初めに；皆さんは、海外で盗難被害に遭った経験をお持ちでしょうか。以下は、私のドジな経験話です。“自分はそんな目に遭うほど間抜けではない”と



自負されている方は、笑って読み飛ばしてください。

第1話＝ケチャップ事件

1990年5月半ば、米国マイアミ空港近辺のホテルの玄関前でした。寝不足で朦朧としながら空港への連絡バスを待っていた時、同僚が「ケチャップがついている」と言うのです。私の上着の左ポケット近辺にべっとり付いているのに気付きましたが、何故なのか全く理解できませんでした。後で判ったのですが、ケチャップを掛けた加害者の期待（カバンを放り出して大騒ぎする）に反して、カバンはしっかり握りしめており、目的地ダラスに着くまでの恥ずかしさと洗濯代の損害だけで済んだのは、不幸中の幸いでした。

実は前日リオ・デ・ジャネイロからマイアミに向けて、深夜0時過ぎに出発した飛行機がエンジントラブルで引き返し、早朝4時頃再びリオ空港に着陸する事故に遭遇しました。私達乗客は出国しているので、入国審査所が開くまで機内に留めおかれ、ようやく午前6時頃に再入国し、航空会社手配のホテルに辿り着いたのでした。エンジンは米国から取り寄せるとかで、結局その日の夜に再出国し翌朝マイアミに到着し、再び入国審査で待たされた挙句、前記ホテルで暫時の休憩をとっていたのでした。寝不足はそのせいですが、ケチャップを掛けた奴に気付かないとは全くのドジでした。

第2話＝置き引き被害

1997年9月下旬、カナダはトロントのホテルの朝のロビーでのことです。メンバーを待ちながらロビーのソファにもたれて新聞を広げていた時に、アラブ系らしき男性から、“今何時か”と聞かれたので身を起して時計を見せたのです。彼が立ち去って再びソファにもたれると、なんと背中後ろに置いたサイドバッグが無くなっていたのです。身を起こした隙に置き引きされたという次第。気づいたときにはロビーから逃げ去る二人を見かけたもののお手上げでした。でも犯人はバッグを開けてがっかりしたことでしょう。中には日程表、メガネとチョコキだけで、貴重品類は入れてなかったからです。私の方はたとえば帰国後に保険金はもらったものの、三つ揃いのスーツは二つ揃いになってしまったのでした。

第3話＝スリ被害（その1）

2001年8月上旬、会社の夏休みを利用して家内との二人旅で訪れたスペインのマドリッドでのことです。セラーノ街にあるロエベの店をウィンドウショッピングして中に入りました。すると二人の警察官がやってきて話しかけるのです。何が何やらさっぱり分からず困っていると、日本語を話す店員が来てくれてようやく理解できました。先ほど家内の手提げバッグから財布を万引きした窃盗犯を、なんと現行犯で逮捕したというのです。驚きましたが小型財布は確かに家内の物でした。いくつかの質問を受け、財布は無事戻ってきましたが、中身は小銭だけだったのです。窃盗犯も手柄の警察官も余りに被害額が小さい事件で、さぞがっかりした事でしょう。本件は実質の被害がゼロだったが故に、その後は身内の笑い話になっています。

第4話＝被害ゼロだが典型的な事件

本件は、奇しくも上記第3話の直後に遭遇しました。ロエベの店を出て、夏休で人通りの少ない真昼間のセラーノ街を歩いていると、ジプシー風の女二人が近づいてきて、地図を持った一人が何か話しかけるのです。思わず地図を覗き込んでみると、家内が大きな叫び声を出しました。その大声で女達は逃げて行きました。何事かと家内に聞くと、女の手が私の上着の内ポケットに掛かっていたというのです。物の本にある典型的なスリの手口の一つに出合ったのですが、家内の機転で事無きを得た次第です。

第5話＝スリ被害（その2）

これは記憶も新しい2014年8月8日の出来事です。家内との個人旅行で前日リスボンに到着し、午前10時頃からリスボン市内を徒歩で観光していました。途中暑くて上着を脱ぎ、危ないからとポケットの財布をショルダーバッグへ移したのが間違いの元だったようです。14時頃昼食を取ったテラス・カフェでバッグの留め具が外れていることに気付きました。慌てて中を調べると先程の財布がなくなっていたのです。ドルとユーロが入った海外旅行用の財布でした。最初は現金に気を取られていたのですが、他に家内のクレジットカードカード2枚とパスポートのコピー2枚があったことを思い出し、急遽タクシーでホテルに直行しました。

直ちに日本のクレジット会社2社へ電話して、カ

ードをキャンセルする手続きを取りました。カード番号のメモは無かったのですが、先方の質問（住所氏名、生年月日、電話番号等）に答えることで本人確認ができたので助かりました。迷ったのはパスポートのコピーでした。分からないままにリスボンの日本領事館に電話したところ「今までにパスポートのコピーで不都合が生じたという話は聞いていません」との模範解答に、やれやれと思った次第です。

本件で驚いたのは、どこで拘られたのか私には全く判からないことです。敵ながらあつぱれで見事な腕としか言いようがありません。あるいは私が余ほどの間抜けなののでしょうか。電話した先々からは警察に届けるように助言されましたが、犯行の時刻や場所が推定できず、結局届けませんでした。

しぶとくその日の市内観光を再開し、翌日はシントラ宮殿・ロカ岬観光にも行きました。しかし当日の夜は悔しくて寝付かれず悶々とした挙句に、幾つかの言い訳をひねり出してようやく寝入ったのでした。言い訳その1は、神様にボケの程度をチェックされて、第1ステップはボケ振りを晒してしまったが、第2ステップでのリカバリーは見事だったではないかという悔し紛れの慰めでした。第2は、前期の情報委員会から依頼されていた「投稿文」のネタが出来たではないか、というヤケツパチの言い訳でした。

なお外貨の半分は家内が持っており、日本で使っている私の財布（私名義のクレジット・カード入り）とパスポートはホテルのセーフティ・ボックスに預けていました。本件で私のプライドはすっかり傷つき、家内に対する私の立場は大いに低下したのですが、家内は以後本トラブルについて一切口にするとはなく、ひそかに感謝しています。もう第3話を笑い話にすることは出来なくなったのです。

終わりに；以上は、海外出張（120回余）と20数回の海外旅行で経験した失敗談です。（他に、アルゼンチンでスーツケースが延着し、太った！現地人からの借り着でセレモニーに出席した経験あり）。分析すると、イベリア半島（2回だけ）に個人旅行で行くことが鬼門（延べ3回のトラブル）のようです。今後も海外旅行の機会があるならば、イベリア半島以外の添乗員付きツアーを選択し、気楽な旅を楽しみたいと思っている次第です。

知床の夢

河合 和郎

10月の初め、私達夫婦は商工会議所のツアーに参加し、北海道東・知床半島を訪れた。出発の朝は折からの台風18号の接近で、かなり強い雨が降っていた。羽田空港も激しい雨の中、飛行機は台風を逃げるように飛び立った。

北海道は快晴、秋の深まる釧路湿原に遊び、摩周湖の神秘的な佇まいを堪能、夜はアイヌのイオマンテ火祭に酔った。このツアーの目玉は船で知床半島を半周することにあつたが、台風18号によるうねりの影響で出航は中止。

急遽コースを変更して、知床五湖を中心に大自然を楽しむコースとなった。私達にとっては、この変更が奇跡のような幸運を呼んでくれた。変更したコースの中に「知床100㎡運動」の拠点施設が含まれていたからだ。

知床の開拓跡地を乱開発から守るため、40年前に始められたナショナルトラスト運動「知床で夢を買いませんか」（斜里町による土地の買取りと植樹のために必要な寄付金の募集）という呼びかけに、私達夫婦もそれぞれに「100㎡の開拓跡地を購入する資金」の寄付に協力したのだ。

子育てが終り、二人の自由な時間が持てるようになったとき、この知床の土地が緑豊かに甦えている姿を必ず確かめに行きたいと願いつつ、今までその夢は叶わなかった。

しかし、今回偶然にも訪れた「しれとこ100平方メートル運動ハウス」の大きな部屋に、全国65,000



人の協力者の名前が掲げられていたのだ。

“私達の名前もあるはずですが……”の一言にツアーのお仲間が見つげ出してくれた。写真の河合和郎・康子は紛れもなく40年前の私達の名前であった。

この運動の成果は、1997年に運動が開始されてから33年間で保全対象地471haの土地取得を完了し、現在は「生物相の復元」（生きものたちを呼び戻す）や「森林の再生」（開拓される前の森を取り戻す）などの事業が中心となり続けられている。

公共団体である斜里町が取り組んだこの事業は、ナショナルトラスト運動の成功事例として、海外でも高く評価されており、2005年の「知床世界自然遺産」の登録にも大きく貢献したとのこと。国立公園・世界自然遺産、流氷の来る町、そして“知床旅情”で知られるロマンの地として、私達に夢を抱かせてくれる知床。今一度訪れる日の近いことを願いつつ、夢物語を終わりたい。

囲碁同好会便り

2014年秋期大会



10月17～18日の両日、囲碁同好会恒例の秋季大会が陣屋温泉で開催された。今年は参加者が6名と少なく、総当たり

り戦といっても例年より時間に余裕があった。夕食前に4局、夕食後に1局の結果は、3勝2敗が3人、2勝3敗が3人と星のつぶし合いとなった。勝負の内容によりポイントが動き、勝てば+2または+1、負ければ-1または-2と決まっているので、翌朝は同点者による順位決定戦が行われた。最上位は下

山邦夫、橋本鋼二両名だったので優勝決定戦となり、激戦を勝ち抜いた橋本会員が秋期大会初優勝、春期大会優勝者の吉



田会員より返還されたカップを受け取った。秋の陣屋温泉での夕食は毎年ほぼ同じメニューなのがかって楽しみとなっており、今年も猪鍋とヤマメに舌鼓を打ちながらのお酒と語らいが、一泊大会ならではの貴重な時間となった。(K. H.)

俳句同好会便り

河合 和郎

私の一句～10月の句会から

秋本番。今月の兼題は田んぼの案山子。ユーモアあふれる句が沢山作られた。俳句同好会がスターとしてそろそろ3年。句会の楽しみ方を会得し、作品も多種多彩になってきている。

戦前が始まる気配秋立ちぬ

渋谷 文雄

「二度と過ちは繰り返しませぬから」と誓って70年。しかし再び戦の気配が。戦争反対の一句。

萩咲きぬ旅を思ひて昨日今日

山形 忠顯

萩の花を見て旅心をかき立てられる作者。柔らかくソフトで上品な一句。

秋刀魚の目煙る彼方の北の海

石田 文彦

焼かれる秋刀魚の目の色に遠い北海の海の色を見た。俳人の目線で詩的な一句が生まれた。

ふり返る猫と目が合ふ秋日和

池田ときえ

特選2人を含む高点句。日常の誰しもが体験する一瞬をうまく詠んで共感を呼んだ。

休田の破れ案山子に鳥ならび

立川富美代

耕作を休ませている休田（やすみだ）に破れ案山子が。寒村の景を詠んで趣のある一句。

古案山子作りし息子今都会

田中 信昭

しんみりとする句。農山村の過疎の現状を案山子の姿に語らせている。着眼の優れた秀句。

菊の香や受賞を祝ふ億の民

飯田富美子

ノーベル物理学賞の慶事を詠む。何でも俳句にする食欲さが佳句を生む原動力になる。

色さして朝日に映へる百奴柿

東山 榮

写生句としてきれいにまとめている。肩に力の入らない俳句作りに3年間の成果が。

祖を祀る血筋どこまで秋彼岸

馬場 征彦

無縁墓地が増えているという。家族制度の崩壊と核家族化が原因。もの悲しさを秘めた一句。

命かけ舞ふて睦ぶや秋の蝶

河合 和郎

もうそこまで冬が近づいているのに、陽の中でもつれ舞う秋の蝶。明日はいつこそぞの哀れが。

編集後記: 10月は新幹線開通と東京オリンピックから50年の節目でした。抽選にあたり、開会式のセレモニーを国立競技場で見ることが出来ました。その後、四国で開かれた学会に出席、帰りは開業して十八日目の東海道新幹線に初乗りをしました。解体工事が始まり、聖火台を取り外したことや点火役の最終走者坂井義則氏の死を報じたニュースを見て、50年の時を噛みしめました。(橋本鋼二)